

オクラ選手に金メダル

大垣市立静里小学校 四年 神谷 知

わたしは、オクラが大すきだ。

スーパーに行ったら、オクラをお母さんが持っているカゴに入れる。今年は、庭のすみにオクラのなえをうえ、育てている。おすすめの食べ方は、みそしるだ。切った形が星がたになっているのもすきで、おわんの中で星がたくさんゆれているのは、とてもかわいい。

育ててみて、もっとオクラがすきになった。なんと、オクラは急成長する天才体そう選手なのだ。

ちよつと想像してほしい。ナスやキュウリ、トマトがなっている様子を。リングやみかんでもいい。きつと、お祭のちょうちんみたいにぶら下がっているのをイメージしたと思う。しかし、オクラは一味ちがう。先っぽが空に向かつて、逆さまのじょうたいでなっている。まるで、逆立ちが得意な体そう選手だ。大きい実も小さい実も、中心のくきの横にくつついて逆立ちしているすがたは、みんなががんばって練習しているみたいでおもしろい。

まだ、すごいことがある。それは、成長ぶりだ。朝、見にいったら、十本ぐらいいっきに実がついていたことがある。前の日に見たときはなかったの、とてもびつくりした。大きくなるのも早い。足の小指ぐらいの大きさだったのが、次の日にはスーパーで売っているぐらいになっている。わたしは、三年生の一年間で三センチぐらい大きくなったけど、オクラは一日で五センチぐらい大きくなる。完全にオクラ

の勝ちだ。毎日りっぱなオクラができるので、毎日しゅうかくすることができた。オクラはとても育てやすいのだ。

しかし、その成長の早さから、失敗することもある。しゅうかくしようか迷う大きさのものを、明日にしようと思ってとらずにいた。次の日、見に行くと、そこにあるのはきよ大オクラだった。大きくなりすぎると、かたくなり、食べにくくなってしまふ。かためがすきな人もいるかもしれないが、わたしがためしに食べてみると、ガリガリとしておいしくなかった。しゅうかくがおそくならないように注意がひつようだ。なにしろ、オクラはただの体そう選手ではなく、急成長する体そう選手なのだ。

オクラについて調べてみると、アオイ科トロアオイ属の植物だといふことが分かった。アオイ科の仲間には、モロヘイヤやドリアンなどがあるそう。モロヘイヤは、民宿にとまった時に、食べたことがある。見た目はオクラとぜんぜんにないが、ネバネバしている所はいっしょだった。モロヘイヤは、たくさん栄養があるといわれているけど、オクラもカリウム、カルシウム、マグネシウムなどのミネラルを多くふくんでいるらしい。

おいしい。かわいい。おもしろい。そして、ぐんぐん成長する。おまけに栄養たっぷり。そんなすばらしいオクラ選手には、金メダルをおくりたい。